

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：日本体育大学

【2022/6/4】

この試合のプレー集計

1部5-6

明治大学 10

3	—	1
2	—	4
3	—	4
2	—	5
PSO		

14 中央大学

審判:

佐藤 國寛
森林 和三

26	SH数	34	中央大学
6	速攻数	7	
8	ST・SB	13	
1	SH・P誘発アシスト	6	
26%	GK阻止率	23%	
8	EX反則数	8	

ST・SB: ポール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1部5-6位決定戦。1次リーグでは明大12-11中大という接戦だっただけに、今回も僅差の試合が予想される。

1P

1次リーグでも機能した中大DFで、明大③熊谷にはなかなか決定機が訪れない中、中大のシュートミスなどを突いて明大が優位に試合を運び、明大3-1中大の1P。しかし、ピリオド後半に、明大⑦渡邊が裂傷で戦列離脱。中大は交代選手の⑧高橋に狙いを定めつつ展開する形に。⑧高橋も中大マークが下がった隙をついて、トップ位置からループを決めるなど奮闘した1Pだった。

2P

中大は明大の攻撃力がやや弱まったと判断して、徹底的に③熊谷をマーク。それが効いた形になったのが③谷の③熊谷からボールを奪ってからの攻め上がりで、中央から狙いすましたシュートで明大4-3中大と追いつけたプレーで中大ペースへ。③谷は続けてカウンター攻撃を決めて同点に。中大がゲームを支配するようになって明大5-5中大で勝負は後半に。

3P

リズムに乗った中大はセンターボールから果敢に攻めて、⑪竹村が左サイドの角度のない位置から決めて中大が逆転。明大もペナルティで同点にするが、中大ペースは変わらず、GK①浦野のカットからの速攻を⑨藤井が決め、明大8-9中大で最終ピリオドへ。

4P

明大も意地で⑤越智が決めて同点にするが、そこから中大が怒涛の5連続得点。同点とされた直後、中大⑪竹村が右サイドから切れのいいシュートを決めると明大側がやや戦意が薄れてしまった。明大③熊谷にボールは届くが、③熊谷自身がやや不調で、そこを起点にしたプレーで中大が一気に引き離れた形となった。1次リーグでも後半は中大ペースだったことから、中大が1次リーグの経験を活かした形で久々の5位に。

なおこの試合、明大側のメンバー表にミスがあり、試合途中で混乱が生じてしまった。今リーグ戦、メンバー表提出での問題が続いていたので、学連から注意喚起があったにもかかわらず起きてしまったミス。運営面を含めた改善を。